【山崎名誉主宰の俳句】

そうはいっても

山崎　聰

さくら散ってふと散骨を思いけり
そうはいってもさくらの花の下はひろい
勝ちは勝ち負けは負けなり遠桜
昼よるとさかなを食べてみどりの日
よもすがら哭いているなり青葉雨
新緑という には遠き山と川
もうすこし寝てていいからほととぎす
ゆっくりと音過ぎていき夏おわる
もうすこし待ってくれれば夏が来る
街はいま人人人の敗戦日